

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

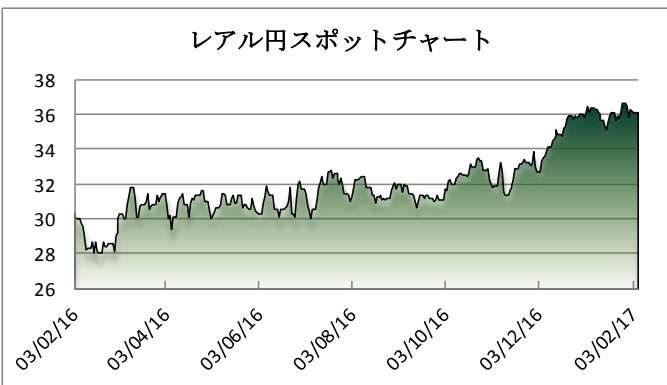
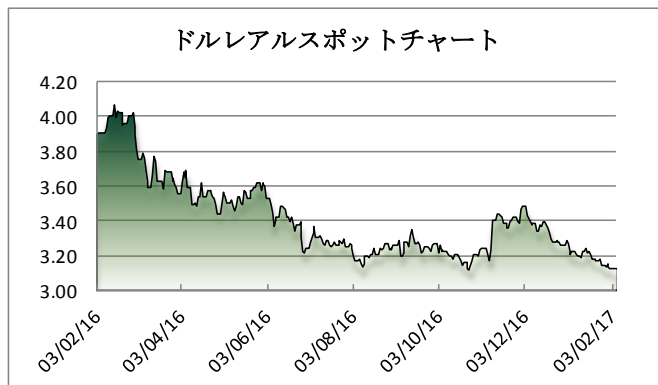
先週末のドルリアルスポット相場は、米1月雇用統計が相応に堅調な内容となったものの、3月利上げの可能性を高めるには十分ではなかったことから、公表直後からドルは対リアルで売りが優勢となり、一時3.10台半ばまでリアル高が進行した。非農業部門雇用者数の伸びは前月比22.7万人増となり、事前予想を上回ったものの、平均時給は前月比0.1%増と低く(前年比でも2.8%増から2.5%増へ低下)、週平均労働時間の増加は確認できなかった。また、失業率も4.8%へ上昇。雇用の伸びが加速する一方、賃金の伸びは鈍く、労働市場に依然として弛み(スラック)が存在するとの見方が大勢であることから、利上げペースの加速を今後想定するには、不十分な結果と言えるであろう。リアル相場は外部要因が主導する時間帯となっているが、中銀による(ドル買いに相当する)リバース通貨スワップ再開への警戒感から、節目として意識されている3.10を下回れない状況が続いている。

Meirelles財務相は週末、Folha紙のインタビューに応え、①政策金利が1桁まで低下するかどうかは、インフレ見通し次第である(中銀見通しでは、年内9.5%となっているが、同財務相は、「確約できない」という立場)、②ブラジル経済はリセッションから第1四半期に脱する、③年末の成長率見通しは2%を上回る、④社会保障改革は、第1四半期に承認を得られるのが、「理想的」である、などの見解を示した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	2月2日	2月3日	前日比	1月3日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3.1217	3.1230	+0.0013	3.2650	-0.1420
	対円	JPY	36.14	36.05	-0.09	36.06	-0.01
	対ユーロ	BRL	3.3608	3.3629	+0.0021	3.3984	-0.0355
円	対ドル	JPY	112.80	112.61	-0.19	117.75	-5.14
	対ユーロ	JPY	121.35	121.44	+0.09	122.53	-1.09
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	64,578	64,954	+376	61,814	+3,140
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	243.4	239.3	-4.1	277.9	-38.6
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	10.73	10.60	-0.13	11.27	-0.67
DI Future Jul17 (金利先物)		%	11.76	11.74	-0.03	12.34	-0.50
3 Months US Dollar Libor		%	1.034	1.034	+0.000	0.999	+0.035
CRB Index (国際商品指数)		Index	193.5	193.2	-0.3	190.1	+3.1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。